

平成 27 年度学生受入部門活動報告

部門長 益子 典文

1. 会議等の記録

平成 27 年度の会議記録を表 1 に示す。

表 1 学生受入部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 24 日	<ul style="list-style-type: none">・平成 27 年度 学生受入部門構成員について・平成 27 年度の事業計画について・岐阜大学案内 2016 年版の作成について・大学見学への対応について・岐阜県高等学校長との懇談会について
5 月 20 日	<ul style="list-style-type: none">・岐阜大学案内 2016 年版の作成について・岐阜県高等学校長代表者との懇談会について・大学見学への対応について・教学 IR データセット構築について
6 月 9 日	<ul style="list-style-type: none">・岐阜県高等学校長との懇談会について・オープンキャンパス 2015 来場者アンケートについて
6 月 23 日	<ul style="list-style-type: none">・2015 年度入試結果調査から見る志望動向・2015 年以降の年間募集広報計画提案・平成 28 年度共通政策課題（入学者選抜改革分）概算要求について
7 月 7 日	<ul style="list-style-type: none">・2015 年以降の年間募集広報計画に係る提案への対応について・平成 28 年度共通政策課題（入学者選抜改革分）概算要求について
7 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">・工学部における IR 分析状況について・平成 28 年度共通政策課題（入学者選抜改革分）概算要求について・高大接続システム改革会議「中間まとめ」（素案）について
9 月 18 日	<ul style="list-style-type: none">・岐阜大学案内 2017 の作成について・「岐阜大学新入生調査 2015」の集計結果について・教学 IR データセットの現状について・平成 27 年度大学説明会の実施結果（中間報告）について・高大接続システム改革会議「中間まとめ」について

10月2日	・特別入試改革に係る過去の入試データの収集作業について
12月3日	・特別入試改革に係る過去の入試データの分析作業について ・岐阜大学案内 2017年版の作成について
12月17日	・特別入試に係る面接方法の改善について ・平成28年4月新入生調査について
2月9日	・入学者選抜方法の改善について ・平成28年度に開催される学外進学説明会等への参加について ・大学案内 2017年版の作成状況について
3月10日	・教学IRデータセットの構築状況について ・高大接続システム改革会議の検討状況について ・大学案内 2017年版の作成状況について

2. 活動内容及び成果

部門業務は、次の4つのミッションに区分している。

(業務1：調査分析) 入学者選抜方法の改善に係る調査・分析・検討

教学IRデータセット入試データの作成・分析

他大学調査・分析

入試制度の検証・改善案の作成

(業務2：広報) 入試情報の提供及び広報活動

大学案内・募集要項作成公表

大学情報の受験雑誌等への出稿

オープンキャンパスの開催

学外機関主催の大学説明会への参画

高等学校の大学見学

高等学校への往訪

(業務3：高大接続) 高大接続

高等学校関係者との懇談会

(業務4：その他)

『平成26年度業務報告』に基づき、『平成27年度活動計画』を次の「重点活動」として策定し、平成27年4月24日の第1回部門会議において承認され、年間を通じて活動を行った。

【調査分析】

○継続活動

- ① 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会，国大協シンポジウムなどに出席し，大学外の入試関連情報を5学部で共有した。
- ② オープンキャンパスのアンケート項目に全学共通項目（用紙：表面）を設け，参加者の属性，動機を分析することで，次年度の実施に向け，改善個所が把握できた。
- ③ 大学説明会来訪者の特性や質問内容を分析し，分析結果を5学部で共有した。
- ④ 入試に関するデータ（進学産業から提供）を基に，平成28年度入試の動向を分析した。
- ⑤ 山形大学を訪問し，エンロール・マネジメント部の活動調査を行った。

○昨年度策定取組方針に基づく重点活動

- (a) 教学 I R データセットの活用方法の検討・施行 [認証評価（基準4）への対応]
教学 I R データセットとして，①新入生アンケート（入学前活動を含む），②入試データ（推薦入試結果含む），③学務科目成績データ，基盤的能力調査データ，卒業時データ，就職先データの一元化が完成した。学生受入部門においては，2点からなる論点（評価方法・評価対象の意識化及び面接の課題解決）を定め，今後データに基づく議論を展開していく計画である。
- (b) 新入生アンケートの実施・分析
2015年度新入生に対し前年度米国 FS 等を参考に構成したアンケートを実施し集計結果を教学企画室会議で報告した。また2016年度新入生に対し入学手続き書類に同封し同様にアンケートを実施した。

【広報】

○継続活動

- ① 昨年度大幅に改訂した『岐阜大学案内』の2017年度版の編集作業を推進した。
- ② 高等学校の大学見学への対処，学外機関主催の大学説明会への参画，マスコミへの取材協力などの入試広報に関する業務については，学部と連携して積極的に取り組んだ。

○昨年度策定取組方針に基づく重点活動

- (a) 大学HP及び岐阜大学広報ビデオの活用（大学見学）
大学見学申込の告知を大学 HP 上で実施することについては次年度も検討を継続する。広報ビデオは高校訪問などで活用を進めた。また、PTA の大学訪問対応について整理した。
- (b) 『岐阜大学案内 2016年版』を完成し，全国に配布した。
- (c) 進学産業の大学 PR 企画への参画
昨年度の参加会場に加え，岐阜を会場とした大学説明会への参加を1回増やした。

【高大接続】

○継続活動

- ① ステークホルダーと対話する関係づくりの一環として、「岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会」のプログラム改善を行い、実施に向けて積極的に協力した。

○昨年度策定取組方針に基づく重点活動

(a) 高等学校関係者との対話の場の確保

【調査分析】と入試方法の検討を優先しており、対話の場の確保については次年度も検討を継続する。

(b) 「高大接続改革実行プラン」に関する情報収集・共有

高大接続システム改革会議の情報を常に収集し、学生受入部門内で共有した。

(c) 推薦入試方法を5学部で共有し、検討を開始した。

【その他】

(a) 上記活動を総合した第3中期目標期間の活動計画の明確化

平成28年から30年の高大接続改革プロセスを計画し、概算要求が認められた。

3. 課題及び次年度の取組方針

4つのミッションに関する課題及び次年度の取組方針は次の通りである。

【調査分析】

- ・ 教学 I R データセット活用に関する各種規定整備 → 教学企画室
- ・ 教学 I R データセットの活用[認証評価（基準4）への対応]
「部門会議で焦点となった入試方法」の検討を行う

【広報】

- ・ 大学訪問に関する大学 HP 告知の検討（継続課題）
- ・ 高校に対する新たな広報手法の検討

【高大接続】

- ・ 高大接続システム改革に関する情報収集・共有
- ・ 高等学校関係者との対話の場の確保

【その他】

- ・ 第3中期目標期間の活動の推進（概算要求に係る計画の実施含む。）

以上

平成 27 年度教養教育推進部門活動報告

部門長 志水 泰武
副部門 佐々木重雄
洞澤 伸
機構専任 篠原 新

1. 会議等の記録

全学共通教育に関係する業務は、授業編成専門委員会を中心に進めた。また、改革のための企画立案は、部門長、副部門長、機構専任教員でワーキンググループを構成し、概ね週一回のペースでミーティングの機会を設けて対応した。このミーティングで作成した原案は、教学企画室ならびに授業編成専門委員会の意見も反映させた後、教学委員会に諮るというプロセスで業務を進めた。

表 1 授業編成専門委員会会議

開催日	主な審議議題
4月13日	<ul style="list-style-type: none">平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について大学以外の教育施設等における学修の単位認定について日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について平成27年度前学期特別聴講学生の受入れについて休業日の授業実施について
5月11日	<ul style="list-style-type: none">岐阜大学教養科目に係る「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する取扱細則の一部改正について平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について平成27年度前学期特別聴講学生等の履修について大学以外の教育施設等における学修の単位認定について協定大学のサマースクールにおける学修の単位認定について日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について平成27年度後学期授業時間割（案）について
6月8日	<ul style="list-style-type: none">平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について平成27年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（前期分）の配分（案）について大学以外の教育施設等における学修の単位認定について

	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度後学期全学共通教育科目「Web履修申請」日程（案）について
7月 6日	<ul style="list-style-type: none"> 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 平成27年度前学期定期試験の実施について
9月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 平成27年度後学期聴講生の履修期間延長について 平成27年度後学期聴講生の受入れについて 平成27年度後学期開講科目の時間割変更について 休業日の授業実施について
10月 5日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成28年度非常勤講師採用計画について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
11月 2日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成28年度非常勤講師採用計画について 平成27年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（後期分）の配分（案）について 平成27年度後学期特別聴講学生等の履修について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 協定大学のサマースクールにおける学修の単位認定について
12月 7日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度非常勤講師採用計画について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 協定大学のサマースクールにおける学修の単位認定について
1月13日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成27年度後学期定期試験の実施について 平成28年度前学期履修申請日程（案）について 平成28年度前学期授業時間割（案）について
2月 8日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度非常勤講師採用計画の一部変更について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 全学共通教育における英語運用能力の基準と目標について 平成28年度新規開講科目について
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> 全学共通教育科目の試験時における不正行為の確認について

2月23日	・レポートに関して不正（剽窃）を行った学生の取扱いについて
3月7日	・岐阜大学全学共通教育科目に関する規程の一部改正について ・平成28年度非常勤講師採用計画の一部変更について ・大学以外の教育施設等における学修の単位認定について ・平成28年度前学期聴講生の履修期間延長について
3月28日	・平成28年度非常勤講師採用計画の一部変更について

2. 活動内容及び成果

- ・日本語科目を他の外国語に充当することについて、「第二外国語」のカテゴリーを設け、充当できる外国語から英語を外した。
- ・平成28年度入学生から「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定の試験の有効期限を定め、対象となる期間を明確にした。また、現在履修している科目については申請できないこととした。
- ・部会長の業務内容を確認し、各部会に副会長をおき、部会体制の構築をはかった。
- ・岐阜駅付近の混雑解消のため、サテライトキャンパスでの早朝クラス開講について検討し、平成28年度から実施することとした。
- ・複合領域科目の分野新設及び分野の変更を行った。
- ・外国語科目担当非常勤講師との懇談会を通じて、語学教育のあり方に関する課題を整理した。
- ・教養教育推進部門FDを開催した。（平成28年2月10日）
- ・教養ブックレット「学問との出会い」の企画、編集、刊行を行った。
- ・全学共通教育での英語教育における英語運用能力の基準と目標について検討した。
- ・成績異議申立内容を分析した。

3. 課題及び次年度の取組方針

- ・科目別の成績評価分布に偏りがあることが分析により明らかになっているため、評価基準に関する考え方を審議する。
- ・学生が、基盤的能力（3つの力と9つの要素）を効率よく身につけるための方策を検討する。
- ・全学出動体制の実質化に向けた方策を論議する。
- ・英語教育の充実に向けて教員組織のあり方を検討する。
- ・教学IR機能を強化し、データに基づいた改革案の策定につなげる。
- ・授業評価アンケートの今後のあり方について検討する。

教養教育推進部門の活動を振り返って

教養教育推進部門長 志水 泰武

教養教育推進部門は、全学共通教育の運営を担当する部門です。新体制となって2年目を迎えました。本年度の活動を振り返り、ご報告申し上げます。

全学共通教育の運営を担う委員会として、授業編成専門委員会が設置されています。この委員会では、各専門部会（人文科学、社会科学、自然科学、スポーツ健康科学、英語、第二外国語、複合領域、日本語・日本事情）の部会長を始めとする関係者が参画し、単位認定や非常勤講師の資格認定等、実質的な業務を行っています。一方、改革のための企画立案は、部門長、副部門長、機構専任教員でワーキンググループを構成し、概ね週一回のペースでミーティングの機会を設けて対応してきました。このミーティングにおいて課題の整理や改善策の立案を行ない、まとまった段階で教学企画室に提示し、各学部の事情に精通した室員からの意見を受けることとしていました。授業編成専門委員会からの意見も反映させながら改革案を策定し、最終的には教学委員会に諮るというプロセスを進めました。このような体制で、岐阜大学の全学共通教育が効果的に進められるように様々な取り組みをしてまいりました。昨年度までに「異分野からの学びを重要視する」ことを基本方針として策定しましたので、これを実現することを目標としました。新たな取り組みとして、28年度からサテライトキャンパスで開始される早朝クラスの設定を行いました。バス停が混雑する時間程に授業を受けて、2限目に間に合うように大学に到着できるという設計になっております。混雑の緩和につながることを期待しています。

次年度より新しい体制のもとで、全学共通教育の運営がなされます。しっかりと引き継ぎをして、継続性のある取り組みが進められるように努めます。今後とも、よりよい教養教育を推進するために協力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国立大学教養教育実施組織会議に参加しました

平成27年5月28, 29日, 教養教育推進部門は, 盛岡市で開催された国立大学教養教育実施組織会議に参加しました。国立大学教養教育実施組織会議は, 全国の国立大学の教養教育を担当する部局が集まって教養教育の課題や改善方法などを議論する会議であり今回で52回目となります。教養教育推進部門は, 前身の教養教育推進センターの頃からこの会議に毎年参加しています。

今回, 同会議の分科会(「授業評価と教育改善」)で, 本学の志水部門長が「授業評価と学生のコメントに対する返答」という題目で報告しました。これは, 本学の「学生に対する返答的コメント」を先駆的な事例として紹介してほしいという分科会座長の要請に基づくものであり, 志水部門長からは, 返答的コメントの取り組み内容やその背景等についての説明がなされました。会場からは, 実施率を上げるための方法や実際に改善につながった例などについて多くの質問が寄せられました(なお, この返答的コメントはAIMSに掲載されています)。

その他にも教育の質保証や第二外国語についての分科会に参加し, 全国の国立大学の教養教育実施組織が抱えている課題やそれを乗り越えるための試みなどについて活発に議論を行い, 多くの貴重な示唆を得ました。

教養教育推進部門は今後もこうした会議に参加して全国の教養教育の状況を把握し, 本学の教養教育の一層の充実につなげていきたいと考えています。



授業評価アンケートに返答しました

教養教育推進部門（旧教養教育推進センター）では、平成16年から全学共通教育科目について、学生による授業評価アンケートを行っています。平成27年度前期の授業評価アンケート実施率は96.43%、同じく後期は92.59%となっています。また、教員と学生の相互理解を目的として、授業を担当された先生方に、授業評価アンケートで寄せられた学生からの要望や自由記述について「学生に対する返答的コメント」をご提出いただきますようお願いしています。この返答的コメントでは、アンケート結果に対応する形で「授業の発展・改善計画」、「学生の受講態度、予習・復習のあり方」及び「今後の勉学への助言・要望」などを自由に記載してもらっています。教養教育推進部門としては、今後もこうした活動を続け、全学共通教育科目の改善につなげていきたいと考えています。なお、これまでの授業評価アンケートの集計結果は、教育推進・学生支援機構HPの教養教育推進部門に掲載されています。また、先生方にご提出いただきました「学生に対する返答的コメント」はAIMSに掲載されておりますので、ご覧頂きますようお願いいたします。

学生から高い評価を受けた授業を参観しました

教養教育推進部門では、これまで全学共通教育の授業改善のために学生から高い評価を受けた授業について、授業運営の仕方や留意点、工夫などを報告書（『教員による授業の工夫集』）としてまとめ、公開してきました。平成26年度は後期の授業を参観したので、今年度は前期の授業を参観しました。残念ながら、学生による評価の高い授業全てを参観することはできませんでしたが、高い評価を得ている科目として、人文科学から2科目、社会科学から2科目、自然科学から4科目、複合から4科目の計12科目を参観しました。また、昨年度に引き続き今年度の授業参観も、教養教育推進部門の教員が共通の点検項目についてコメントを行い、授業担当の先生がそれに応答するという形式で行いました。これにより、授業担当の先生方の優れた取組みがより客観的な視点から明らかになったのではないかと思います。この報告書はAIMSに掲載されておりますので、是非ご覧いただき授業改善に役立てていただきたいと考えております。最後になりましたが、授業参観を承諾し、報告書の作成にご協力いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。

第二外国語非常勤講師との意見交換会を開催しました

平成28年2月2日(火)、第二外国語非常勤講師の先生方と教養教育推進部門との間で意見交換会を開催しました。第二外国語の非常勤講師全15名のうち、9名の先生方が出席されました。

前半は、この一年の授業を振り返ってのご感想やご意見を自由に発言して頂きました。その際、特に今年度入学の学生たちの様子が大きな話題となりました。それは従来通りであり、別段、学生たちには大きな変化は見られないというお話しも確かにありました。しかし、何人もの先生方から、学生たちはこれまで以上に真面目な態度で授業中の課題や会話練習に一生懸命に取り組んでくれたという報告がありました。たとえば、ドイツ語のあるクラスでは、授業中に映画を見せた所、今までには見られなかったような生き生きとした感想が返ってきたということでした。これらのことから、それがたとえ一部ではあるとしても、学生たちの学ぶ姿勢に少し変化が起き始めていることが分かりました。それは今年度の新入生が「(完全)脱ゆとり世代」の第1期生であること、また、入学当初に行われた「全学共通教育ガイダンス」において、専門教育とは異なる教養教育の意義をより明確に学生たちに伝えたことなどによるものと思われる。他方、学生たちの日本語能力が、年々、低下してきているのご指摘が複数ありました。このことは、全体的な問題として機構が取り組むべき古くも新しい課題であることが改めて認識されました。後半は、大学に対するご要望についてお聞きしました。まず最初に、昨年度の意見交換会の際に出されたご提案(第二外国語の履修希望調査の新しい方法、学部混合クラスの編成など)についてご返答しました。それらのことについては、学務上の事情があるため、現行のシステムを続けざるを得ないことをご説明して、ご理解頂きました。今回、新たに出された要望として、たとえば、医学部のドイツ語クラスの受講者上限数の変更、冬期1時限の教室の暖房への配慮などがありました。これらのことについては、専門部会と事務室で検討させて頂くこととしました。

最後に、本学の教養教育の外国語が非常勤講師の先生方によって支えられていることに厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも相変わらぬご協力をお願いして、この日の意見交換会は終了しました。



英語非常勤講師との意見交換会を開催しました

本学の英語非常勤講師の先生方のお考えを伺い、今後の教育改善を行うことを目的として、平成28年2月3日(水)、12:10~13:00に意見交換会を行いました。参加者は、英語非常勤講師16名、学内教職員14名でした。この1年間に行われた英語教育について以下の議論が活発に行われました。

昨年度では、1クラス当たり40人前後の学生数に増加したことによる英語教育の質の低下が話題になりましたが、今年度ではTOEIC等による単位互換制度の講義への影響が問題になりました。今年度に入ってから、「講義テキストを買わない」、「受講態度が悪い」、「学生が次々といなくなり、講義運営に支障をきたす」などの問題が増加していることが報告されました。これら問題は、単位互換制度が同年度開講および履修中の科目に対しても適用可としているため、学生が履修中の英語科目の単位を単位互換により取得できることを前提として受講していることに原因があります。本件については教養教育推進部門で既に把握していたため、対策として申請時の次の学期以降に開講する科目に対してのみ単位互換制度を適用する規則を既に策定しておりました。来年度よりこれを施行することによって上記問題は発生しなくなることに付いて志水部門長より説明がなされ、皆さんにご理解をいただきました。

その他のご意見としては、「今年の学生はおとなしく真面目であるが、基礎学力が低い」などの新学習指導要領による学生の変化に関するもの、「AV機器の音量が小さく、使用に耐えない」、「AV機器と教室の照明関連スイッチの設置場所に関する不具合」などの教育設備面の問題点、Webシラバスのアップロード作業上の問題などがありました。設備、情報システムに関しては部門で対応できるものから検討することといたしました。

また、「成績に対する異議申し立て」に関して、学生との対応が問題なくできるように成績評価の証拠であるレポートや試験解答用紙などの1年間の保管義務を守るように志水部門長よりお願いがありました。なお、1年間の保管義務については非常勤の先生方に配布されている「教員ハンドブック」に記載されてはいるものの、日本語版のみしかなかったため、次年度以降は英語版を作成して配布することにしています。

最後に、今後の全学の英語教育へのご協力をお願いし、この日の意見交換会を終えました。



部門FDを開催しました

平成28年2月10日(水)、教養教育推進部門のFD「教養教育改善への取組と今後のあり方」を開催しました。このFDには、役員2人、教員35人、事務職員10人、合計47人の参加を得ることができました。

まず、司会の佐々木副部門長が、教養教育推進部門として平成26年度から進めてきた取り組みを概説し、参加者と今後の教養教育のあり方を論議したいという趣旨説明を行いました。つづいて、洞澤副部門長が「平成28年度以降の全学共通教育の基本方針」と題する報告を行い、「異分野からの学び」を基本理念として策定したこと、また、これに伴って履修制限等に変化があることを説明しました。志水部門長は「学生による授業評価において高評価を受けた授業の参観」という題目で、授業参観について報告しました。そして、授業参観を通して明らかになった優れた取り組みを今後、各教員が生かしていくことが重要であると指摘しました。その後、篠原機構専任が「教養ブックレット・シリーズの現状と今後の課題」という報告を行い、教養ブックレットについてのアンケート結果とその分析について説明しました。最後に、江馬教育推進学生支援機構長が「英語教育の改革に向けた取組」として、現在、取り組んでいる改革の内容を報告しました。そして、今後とも有意義な英語教育のために様々な取り組みを行っていくことを説明しました。

以上の報告の後、参加者との議論に移りました。参加者からは教養教育の位置づけや「異分野からの学び」という理念がよくわかったという意見が出されました。授業評価についてもアンケート調査の改善点やの今後の活用方法についての具体的な提案などがありました。そのほか、教養ブックレットの執筆者を増やす必要があることや、配布先を学内だけではなく、学外にも拡大する必要があることなどを指摘する意見がありました。また、教養教育における英語教育の具体像についても様々な提案がありました。参加者との議論は終了時刻まで活発に行われ、その後に行われたアンケートでも大変貴重な意見や提案を数多くいただきました。これらのことについては、今後の教養教育で生かしていくことにしました。

最後に、江馬機構長から先生方へ今後とも教養教育に対するご理解とご協力をお願いして、この日のFDを終了しました。



全学共通教育授業担当者との意見交換会を開催しました

平成28年3月9日（水）、全学共通教育の授業を担当している先生方との間で意見交換会を開催しました。まず10時から、各専門部会（人文科学、社会科学、自然科学、スポーツ健康科学、英語、第二外国語、複合領域、日本語・日本事情）に分かれて意見交換会を行い、11時からは全体での意見交換会を行いました。全体での意見交換会には、学内の各部局から37名の先生方の参加を得ました。

全体での意見交換会では、はじめに各専門部会の部会長から、今年度の総括と来年度の課題が述べられました。人文科学部会からは、教養教育における人文科学の重要性をより強調していくことが課題となることなどが報告されました。社会科学部会からは、部会で作成したブックレット『社会科学入門』を改定するスケジュールを立てていること、社会科学でどのようにアクティブラーニングを導入していくかが議論されたことなどが紹介されました。自然科学部会からは、教員の退職や転出などで授業数の減少がありそれが補充されないという問題があること、全学部が履修する教養教育においてどのような自然科学がふさわしいのかを検討する必要があることなどが指摘されました。スポーツ健康科学部会からは、文科省の依頼によるスポーツテストを行ったこと、体育施設の管理部局との連携が課題となっていることなどが報告されました。英語部会からは、英語教育についての目標を統一する必要があることなどの意見が紹介されました。第二外国語部会からは、言語別のクラス人数を調整していること、言語を専門とする教員が減少していることへの対応が課題となるなどの意見が出されました。複合領域部会からは、学生が主体的に授業を選択できるようにするための工夫が求められていることなどの意見が紹介されました。日本語・日本事情部会からは、日本語レベルの異なる留学生への対応が課題となっていること、開講クラスの整理が進行中であることなどが報告されました。

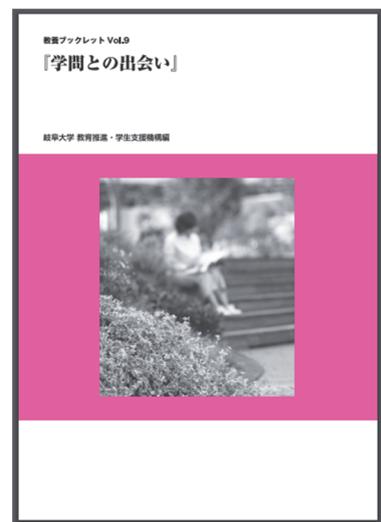
そのほかにも、出席者から「全学出動態勢」を確立することが喫緊の課題であるとの指摘や『日本語練習ノート』の積極的な活用を促す意見などが出され、活発な意見交換がなされました。

最後に、教養教育推進部門長から、今年度、教養教育の理念として「異分野からの学び」を設定したこと、それにもなっけて来年度から履修制限に変更が生じることなどを説明し、この日の意見交換会を終えました。



教養ブックレット『学問との出会い』を発行しました

教養教育推進部門では、教養教育の充実に資するため、これまでに8冊の教養ブックレットを発行してきました。今年度は『学問との出会い』と題する第9冊目を発行しました。大学は「学問」をすることでされていますが、しかし、大学で「学問」に取り組めばよいのでしょうか。こうした問い、あるいは悩みは、多くの大学生が共通して抱えているものだと思います。今は岐阜大学で「学問」に取り組んでいる研究者も、かつては大学生であり、今の大学生と同じような問いに直面していました。その大学生がどのように「学問」と出会ったのか、また、どこに「学問」のおもしろさを感じるようになったのか――。今回、先生方には、専攻している学問や研究対象に出会ったきっかけ、または、これがなければこの研究をしていなかったというターニングポイント等を紹介していただきました。38人の先生方による文章は、どれも大変興味深く示唆に富むものであり、岐大生や新入生にとって大きな意義があると考えています。また、PDF版がAIMSに掲載されていますので、そちらもご覧になっていただきたいと思います。



平成 27 年度学修支援部門活動報告

部門長 加藤 直樹
副部門長 海野 年弘
副部門長 篠田 成郎

1. 会議等の記録

学修支援部門では、部門長、副部門長、専任教員、職員で行う打合せや、部門全体で行う会議によって課題や活動方針を定め、具体的な業務は、初年次教育担当、メディア教育担当、アカデミック・コア運営チームのそれぞれが担当している。各組織の会議記録は以下のとおりである。

表 1 学修支援部門打合せ

開催日	主な打合せ内容
4月14日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について ③ 学修支援部門ホームページについて ④ アクティブ・ラーニングについて
4月28日	① アカデミック・コモンズの運用について ② 学修支援部門ホームページについて
5月12日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について ③ 学修支援部門ホームページについて
5月26日	① アカデミック・コモンズ記念式典について ② アカデミック・コモンズの運用について ③ 学修支援部門ホームページについて
6月9日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について ③ 学修支援部門ホームページについて
6月23日	① アカデミック・コモンズの運用について ② 学修支援部門ホームページについて
7月7日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について

7月21日	① 合同会議について ② 各担当会議報告 ③ アカデミック・コモンズの運用について
9月1日	① 合同会議について ② 各担当会議報告 ③ アカデミック・コモンズの運用について ④ 平成27年度計画に対する9月末時点での進捗状況の報告について
9月18日	① 合同会議について ② 各担当会議報告 ③ アカデミック・コモンズの運用について ④ 平成27年度計画に対する9月末時点での進捗状況の報告について
10月7日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について
10月21日	① 合同会議について ② アカデミック・コモンズの運用について
11月11日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について
11月30日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について
12月14日	① 合同会議について ② アカデミック・コモンズの運用について
1月5日	① 各担当会議報告 ② アカデミック・コモンズの運用について
1月18日	① 学修支援部門（初年次教育担当）FDについて ② 平成28年度初年次セミナー（図書館ツアー）について ③ アカデミック・コモンズの運用について ④ 平成27年度実施状況の点検及び評価に係る報告について

表2 学修支援部門全体会議

開催日	主な審議議題
5月27日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コモンズ記念式典について ③ 今年度の合同会議日程（案）について
7月22日	① 学修支援部門（初年次教育担当委員）の交代について ② 各担当の活動について

	③ アカデミック・コア オリジナル企画（第2弾）について
9月30日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コアの利用状況について ③ 平成27年度計画に対する9月末時点での進捗状況の報告について
10月28日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コアの利用状況について
12月21日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コアの利用状況について
2月24日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コア運営チーム ③ 平成28年度初年次セミナー（図書館ツアー）について ④ 平成27年度計画実施状況の点検及び評価に係る報告について ⑤ ニューズレターの発行について
3月23日	① 各担当の活動について ② アカデミック・コア運営チーム ③ 平成27年度岐阜大学学生論文コンテストについて ④ 平成27年度学修支援部門活動報告（年報）について

表3 初年次教育担当の活動

開催日	主な検討事項
4月24日	① 今年度の活動について ② 学修支援部門ホームページについて ③ アカデミック・コモンズの運用について ④ 「学びをデザインする」実施に向けた今後の予定 ⑤ 初年次セミナーのあり方について
5月27日	① アカデミック・コモンズの運用について ② 「学びをデザインする」実施に向けた今後の予定 ③ 初年次セミナーのあり方について ④ 学修支援部門ホームページについて
6月22日	① アカデミック・コモンズの運用について ② 「学びをデザインする」実施方法について ③ 初年次セミナーのあり方について ④ 学修支援部門ホームページについて
7月22日	① 初年次教育担当委員の交代について ② アカデミック・コアの運用について

	<ul style="list-style-type: none"> ③ 「学びをデザインする」実施方法について ④ 初年次セミナーのあり方について
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ① アカデミック・コアの運用について ② 「学びをデザインする」実施方法について ③ 初年次セミナーのあり方について
10月28日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について ② 「学びをデザインする」実施方法について ③ アカデミック・コアの運用について ④ 全学共通教育科目授業案内「初年次セミナー」の原稿について
11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について ② 学修支援部門（初年次教育担当）FDについて ③ アカデミック・コアの運用について ④ 全学共通教育科目授業案内「初年次セミナー」の原稿について
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・初年次セミナーに関するアンケート調査報告書について ・平成28年度図書館ツアー（案）について ② 学修支援部門（初年次教育担当）FDについて ③ アカデミック・コアの運用について
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・初年次セミナーに関するアンケート調査報告書について ・平成28年度図書館ツアー（案）について ② 学修支援部門（初年次教育担当）FDについて ③ 平成28年度「学びをデザインする」実施方法について ④ アカデミック・コア チラシの発行について
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・初年次セミナーに関するアンケート調査報告書について ・平成28年度図書館ツアーについて ② 学修支援部門（初年次教育担当）FDのアンケート結果について ③ 平成27年度岐阜大学学生論文コンテストの選定について
3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ① 初年次セミナーのあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・初年次セミナーに関するアンケート調査報告書について ・平成28年度図書館ツアーについて ② 平成27年度学修支援部門活動報告（初年次教育担当）年報について ③ 今年度の活動総括及び次年度検討事項の申し送りについて

表 4 メディア教育担当の活動

開催日	主な審議議題
4月22日	① メディア教育担当の構成とミッション ② 今年度の活動計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の活動総括と課題 ・ 今年度の活動目標 ・ 今年度の体制と具体的活動案 ③ AIMS-Gifu 活用方法具体化・モデル化に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu 活用表の Web 公開に向けた最終作業の確認 ④ AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 25 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケート, 平成 26 年度前期 AIMS-Gifu 利用者アンケートに関する集計結果の検討 ・ 平成 26 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケート実施状況の報告 ・ 平成 26 年度後期学生向けおよび教員向け後期アンケートの単純集計結果報告 ・ 平成 26 年度後期学生向けおよび教員向け後期アンケートの詳細解析に関する協議 ⑤ AIMS-Gifu 更新スケジュールの確認
5月27日	① IMS 活用方法具体化・モデル化に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu 活用表の Web 公開内容の最終確認 ・ Web 公開での技術的課題に関する確認 ② AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 26 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケートに関する集計結果の検討 ・ これまでの全ての AIMS-Gifu 利用者アンケートにおける自由記入内容に対する回答対応表の確認 ・ 平成 26 年度後期学生向けおよび教員向け後期アンケートの詳細解析内容の確認 ③ AIMS-Gifu 更新に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語パックの修正内容の確認 ・ 更新作業スケジュールと作業分担の確認 ④ 岐阜大学活性化経費（教育）へのプロジェクト申請
7月22日	① AIMS-Gifu 活用方法具体化・モデル化に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ CMS による教育推進・学修支援機構ホームページへの AIMS-Gifu 活用表公開内容の最終確認 ・ YouTube 動画の視聴 URL 指定に関する協議

	<p>② AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの全ての AIMS-Gifu 利用者アンケートにおける自由記入内容に対する回答対応表の確認 ・ 平成 26 年度後期学生向け後期アンケート分析結果に関する考察内容の協議 ・ 平成 26 年度後期学生向け後期アンケート結果に関する協力教員へのヒアリング状況の報告 ・ AIMS-Gifu の効果的活用に関する FD のパネラー候補とする教員と学生の決定 ・ AIMS-Gifu の効果的活用に関する FD 開催の周知方法と役割分担の協議 <p>③ 平成 27 年度前期 AIMS-Gifu 利用者アンケートの実施スケジュール</p>
9 月 3 0 日	<p>① AIMS-Gifu 活用方法具体化・モデル化に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu 操作説明動画の掲載先に関する協議 <p>② AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu 活用効果 FD 意見交換会の実施報告書の内容確認 ・ 平成 26 年度後期学生向け後期アンケート実施協力教員へのヒアリング結果の報告 ・ 平成 27 年度後期学生向けアンケートの実施内容および方法に関する協議 ・ 平成 27 年度前期 AIMS-Gifu 利用者アンケートの集計スケジュールに関する協議 <p>③ AIMS-Gifu コミュニティの新規・継続・取消申請方法について</p> <p>④ AIMS-Gifu 内での各種問合せ先の明示方法について</p>
1 0 月 2 8 日	<p>① AIMS-Gifu 活用方法具体化・モデル化に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メディア教育担当用の Web ページ公開内容について ・ AIMS-Gifu 操作説明動画の掲載方法について <p>② AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度前期 AIMS-Gifu 利用者アンケート集計結果の内容確認 ・ AIMS-Gifu 活用効果 FD 意見交換会の実施報告書 (Web 公開用) の内容確認 ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケート実施に関する協力教員依頼方法の協議 ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケート (学生向け) に関する実施内容・設問の確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケート（教員向け）に関する実施内容・設問の確認 ③ 学生への各種情報提供方法に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ Web サービスによる情報提供方法のあり方 ・ 学習に関する問合せ窓口のあり方 ・ 担当グループの検討 ④ AIMS-Gifu コミュニティの運用方法に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の報告 ・ 新規・継続・取消申請方法の検討 ⑤ AIMS-Gifu のスマートフォン等への対応 (Blackboard Mobile Learn) に関する意見交換
1 1 月 2 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ① AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートに関する協力依頼教員の報告 ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケート実施に関する学生向けアンケート, 教員向けアンケートおよび手順書の内容確認 ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートに関する実施スケジュールの確認 ② 学生への各種情報提供方法に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ Web サービスによる情報提供方法のあり方 ・ 学習に関する問合せ窓口のあり方 ③ AIMS-Gifu コミュニティの運用に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規・継続・取消申請書（案）の検討 ・ 全学へのアナウンス文書（案）の協議 ④ AIMS-Gifu のスマートフォン等への対応 (Blackboard Mobile Learn) に関する意見交換 ⑤ 学務情報システムの学修カルテ機能およびポートフォリオ機能の試行利用に関する報告
1 2 月 2 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ① AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートに関する協力依頼状況の報告 ② 学生への各種情報提供方法に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ Web サービスによる情報提供方法（案）の協議 ・ 学習に関する問合せ窓口に関する提言（案）の協議 ③ AIMS-Gifu の運用ルールに関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu コミュニティの運用に関する全学的周知方法（案）の

	<p>確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu の運用全般に関する課題整理（意見交換）
1月27日	<p>① AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートの回収状況と分析結果速報の確認 ・ 分析および考察の進め方に関する協議 <p>② 学生への各種情報提供方法に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討の進め方に関する再確認 ・ 学務情報システムの名称に関する協議 ・ 教育用 Web サービスのロゴとバナーのデザインに関する協議 ・ 教育用 Web サービスのポータルサイトに関する協議 ・ 学習問合せ窓口一覧の掲示方法に関する協議 <p>③ AIMS-Gifu コミュニティの運用に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu コミュニティの運用に関する全学的周知状況の確認 ・ AIMS-Gifu コミュニティの利用停止方法の確認 <p>④ AIMS-Gifu の定期メンテナンス時間に関する報告</p> <p>⑤ ニュースレターに関する意見交換</p> <p>⑥ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケートの実施期間</p>
2月24日	<p>① AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートの回収状況と分析結果速報の確認 ・ 分析および考察の進め方に関する協議 <p>② 学生への各種情報提供方法に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学務情報システムの愛称公募方法に関する協議 ・ 学務情報システムによる教育用 Web サービス一覧および学習問合せ窓口一覧の掲示方法に関する協議 <p>③ AIMS-Gifu コミュニティの運用に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIMS-Gifu コミュニティの利用停止方法の再確認 <p>④ AIMS-Gifu の更新に関する意見交換</p> <p>⑤ ニュースレターに関する意見交換</p> <p>⑥ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケートの集計</p>
3月23日	<p>① AIMS-Gifu 効果分析・検証に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 活用効果アンケートの回収状況と分析結果の確認 ・ 考察内容の確認と協議 <p>② 学生への各種情報提供方法に関する協議</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学務情報システムの愛称公募スケジュールの確認 ・ 学務情報システムによる教育用 Web サービス一覧および学習問合せ窓口一覧の掲示方法に関する協議 <p>③ 教育推進・学生支援機構年報の原稿に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メディア教育担当の活動内容および成果に関する原稿執筆方針の協議 ・ メディア教育担当の課題および次年度の取り組み方針に関する原稿執筆方針の協議 ・ AIMS-Gifu 活用効果に関する FD 開催報告および学术论文に関する原稿執筆方針の協議 <p>④ AIMS-Gifu の更新に関する意見交換</p> <p>⑤ 平成 27 年度後期 AIMS-Gifu 利用者アンケート集計結果の確認</p>
--	--

表 5 アカデミック・コア運営チームの活動

開催日	主な検討事項
5月12日	<ul style="list-style-type: none"> ① アカデミック・コア運営チーム ② 事務補佐員採用に係る応募書類（履歴書） ③ 6月1日のオープニングセレモニー（学生代表挨拶，式次第，時間，会場設営配置図） ④ アカデミック・コアを周知する看板，チラシ等作成（横断幕，セレモニー当日の配布資料） ⑤ 学生スタッフの勤務シフトと業務内容（AIMS-Gifu スタッフとの兼ね合い） ⑥ アカデミック・コア（運営チーム）で使えるお金
6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ① Web サイトの文章と写真 ② アカデミック・コアのコンセプト（キャッチコピー） ③ 学生スタッフ ④ アカデミック・コア利用規程作成に向けて
7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ① アカデミック・コアのコンセプト（キャッチコピー） ② アカデミック・コア行事状況
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度進捗状況について ② アカデミック・コアオリジナル企画第3弾 ③ 「しゃっぼ」アンケート結果 ④ 学生スタッフからの報告 ⑤ アカデミック・コア HP

	⑥ アカデミック・コア前の駐車場 ⑦ アカデミック・コアの周知方法
10月13日	① 利用者数とイベント実施状況の報告 ② 学生スタッフの活動報告
11月10日	① 「初年次セミナー」の図書館ツアー改革について ② ワークスタディ対象者の選考方法について ③ アカデミック・コアで授業実施について（イノベーションセンター） ④ アカデミック・コアのチラシについて
12月8日	① 「初年次セミナー」の図書館ツアー改革について ② ワークスタディの選考結果について ③ アカデミック・コアのチラシについて
1月12日	① アカデミック・コア・ニューズレターについて ② 試験期間中における開館時間の延長について
2月9日	① 「初年次セミナー」の図書館ツアー改革について ② アカデミック・コア・ニューズレターについて
3月8日	① 機構年報に記載する事項の検討 ② 図書館ツアー用スライド完成の報告 ③ 次年度発行予定のニューズレターおよび、図書館ツアーで配布する資料について

2. 活動内容及び成果

【初年次教育担当】

1) 能動的学修を志向した新規科目の開発

学生の能動的な学びを促進する方策として、全学共通教育科目「学びをデザインする」を新規に企画開発し、平成27年度後学期より開講した。この科目は「複合領域科目」という科目区分の中の、さらに小区分「学び創造分野」に置いた。履修登録者は当初17名であった。

「学びをデザインする」の開講と並行して、学期末の成績評価に関する基準の申し合わせ、および、この科目と関連づけて初めて実施する「学生論文コンテスト」の実施要項等を作成した。「学生論文コンテスト」とは、「学びをデザインする」を履修して、一学期間かけて執筆した論文（レポート）を競いあうコンテストである。初回である今年度は、応募資格を「学びをデザインする」の履修者のみとした。コンテスト開催の結果、6名からの応募があった。初年次教育担当の教員が審査した結果、優秀賞1作品、佳作3作品の合計4本を選定した。

能動的学修を促進するためには、SAやTAといった学習支援者を置くことが有効である。そこで、こうした学生スタッフの養成を目的とした科目も開講した。新規に全学共通教育科

目に置いた「学習支援概論：魅力的な TA・SA として活躍するために」がそれである。置いた科目区分は、「学びをデザインする」と同じく、「複合領域科目」の中の「学び創造分野」である。平成 27 年度前学期に開講し、3 名が履修登録した。この科目は平成 28 年度より、科目名を、「ひろがる学び，つながる学び」へと変更することとした。

2) 初年次セミナーの改革に向けた調査・検討

全学共通教育科目については、各学期の最後に学生による授業評価アンケートが実施されており、その結果が各担当教員にフィードバックされている。しかし、初年次セミナーに関しては、全学共通教育科目でありながら、このような授業評価アンケートは実施されていなかった。そこで、学修支援部門・初年次教育担当では、今年度に受講学生（1 年生）を対象に講義内容に関するアンケート調査を企画、実施し、その調査結果および前年度に実施した担当教員に対するアンケート調査の結果とを合わせて解析した。

その結果、初年次セミナーにおいて実施されている項目では、「大学院生・留学生・外部講師等による講演会」に対する評価が非常に高いことが明らかとなった。また、学生が是非取り入れてほしい内容としては、「レポートの書き方」が最も高いことも明らかとなった。一方、「図書館ツアー」については、開催時期等の改善を望む声が多かったため、次年度に実施する図書館ツアーに関しては大幅な見直しを行い、今年度に開設したアカデミック・コアを利用した新たな実施計画を企画した。

以上のアンケート調査結果についてはその詳細を報告書にまとめ、セミナー担当者へ送付するとともに、学修支援部門のホームページ上に公表した。また、昨年度および今年度を実施したアンケート調査結果に基づいて議論した内容を広く教員に知ってもらい、セミナーの今後のあり方について議論を深めるために、FD を平成 28 年 2 月 3 日に開催した。FD には 38 名の参加があり、活発な議論がなされた。FD の開催内容についても報告書にまとめ、学修支援部門のホームページ上に公表した。

3) その他

・学修支援部門ホームページ作成・公開

平成 27 年 1 月よりホームページ検討チームを設置し、部門ホームページの内容・構成について検討を行なった。本ホームページは、学生向けのお知らせで終わるのではなく、学修支援部門の活動や中心となる考え「Active Learning」を学内外へ発信することを目的とし、具体的な「ホームページへの期待」として下記の 4 点を設定した。

- 1) 学修支援活動の計画や成果等を積極的に学内外へ発信して認知度を高める。
- 2) 教職員のみならず、学生の活動を大切にし、学生を大学の構成員として位置付ける。
- 3) 部門が主導する授業や活動を実践的な情報として提供する。
- 4) データに基づく分析結果などを成果として積極的に公開する。

上記の期待を基盤にして、メッセージ性をもったホームページにし、随時情報を更新できるような動的活動報告の媒体とすることを基本方針とした。

平成 27 年 5 月に、「Active Learning(AL)」「アカデミック・コモンズ」「大学としての学修支援」「教員の AL への取組み」「学生の教育改善への参画」「学習効果向上に向けて」「学修支援部門について」を主要な内容とした部門ホームページを作成し、それ以降、部門の活動や Active Learning に関わる情報の発信としての機能を果たしている。



図 1 学修支援部門ホームページ

【メディア教育担当】

1) AIMS-Gifu 活用表の作成と公開

これまで AIMS-Gifu のヘルプデスクページ内で公開していたマニュアル類や活用事例などに加え、教員向けの操作動画を作成し、AIMS-Gifu の利用シーン毎に機能別に表形式で配置する AIMS-Gifu 活用表を作成した。また、これを学修支援部門の Web ページに掲載し、学内はもとより、学外からも閲覧できるようにすることで、本学の教育支援に関する取り組みを積極的に公開した。なお、今回の教員向け操作動画は AIMS-Gifu 利用初心者を対象としたものであるため、中級者向けなどの発展版を追加作成するとともに、現行版の分かりにくい点を改善するなどのバージョンアップを図っていく予定である。

2) AIMS-Gifu の効果分析

平成 26 年度後期に実施した授業時間外学習における AIMS-Gifu の効果に関するアンケート

ート調査の分析を行いレポートとして学修支援部門の Web ページで公開した。また、その結果に基づく FD を開催し、能動的学修に資する AIMS-Gifu の活用方法に関する意見交換を実施し、その結果を報告書として取り纏め、学修支援部門の Web ページに公開した。さらに、今年度後期に同様なアンケート調査を実施し、昨年度の結果と比較することで、AIMS-Gifu の利用方法に関する教員の工夫がどのように活用効果に現れるかについて検討した。なお、これらの一連の検討結果については、教育推進・学生支援機構年報に学術論文として投稿する予定である。

【アカデミック・コア運営チーム】

1) アカデミック・コア開館と運営体制の構築

平成 27 年 6 月 1 日(月)、創立記念日にあわせる形で、アカデミック・コアをオープンした。「アカデミック・コア」は、全学共通教育棟 1 階の「アクティブ・ラーニング教室」や、情報メディアセンター内の「メディア・コモンズ」をともに、本学の「アカデミック・コモンズ」を構成する施設である。

アカデミック・コアの開館記念式典は、この施設が学生の主体性を育む場所であることを重視して、学生（学生スタッフ）にも参画してもらった。全体の司会は、工学部応用情報学科 4 年生の立川彩子氏に、学生代表の挨拶は、同じく工学部応用情報学科 4 年生の加藤悠馬氏が務めた。また、この日から専属職員として立木はる菜氏を採用するとともに、従来から AIMS-Gifu ヘルプデスク担当者として勤務していた服部恭子氏の執務場所をアカデミック・コア内へと移動させた。

アカデミック・コアの運営には、立木、服部の両氏に加えて、初年次教育担当とメディア教育担当から教員が集まり、さらにはアカデミック・コアが位置している図書館からも職員 2 名の参画を得て、「アカデミック・コア運営チーム」を組織してあたることにした。

2) 学修支援に関する各種イベント・学生スタッフの企画実施

アカデミック・コアは、単なる自習室ではない。学生の学びが促されるような様々な仕掛けを設ける点に特徴がある。学生スタッフが中心となって企画・実施する学修支援イベントはその代表である。平成 27 年度は、「アカデミック・コアオリジナル企画」と題した学修支援に係るイベントを 9 回実施した。内容は、メールの書き方、レポートの書き方、TOEIC 対策講座などである。イベント実施と並んで、学生スタッフによる対面での学習相談も開始した。AIMS-Gifu 内には、アカデミック・コアのコミュニティを開設した。オープン初年度ということもあり、各種掲示物（利用方法を示したチラシ、ポスター、各種イベント案内）の作成にも力を入れた。

アカデミック・コアには、オープン当初から 7 名の学生スタッフが勤務した。これら 7 名は従来から、AIMS-Gifu の学生スタッフとして勤務してきた者である。平成 27 年度秋からは、これら 7 名の他に、経済的に困窮した学生を助ける「ワークスタディ」制度によって新たに 1 名が雇用され、計 8 名体制となった。

オープン以来、入場者数は順調に増えており、当初目標としていた年間 4 万人という目

表6 平成27年度アカデミック・コア利用者数

		平成28年3月31日現在								
		月	火	水	木	金	合計	開室日数	平均/日	
6月	午前(10~12時)	71	100	109	100	81	461		21	
	午後(12~15時)	107	166	162	148	75	658		30	
	午後(15~17時)	130	121	163	101	60	575	22日	26	
	午後(17~19時半)	86	93	89	63	33	364		17	
	小計	394	480	523	412	249	2,058		94	
7月	午前(10~12時)	81	131	100	165	169	646		29	
	午後(12~15時)	139	242	358	310	303	1,352		61	
	午後(15~17時)	136	253	320	259	242	1,210	22日	55	
	午後(17~19時半)	81	154	180	182	179	776		35	
	小計	437	780	958	916	893	3,984		181	
8月	午前(10~12時)	275	230	168	112	105	890		47	
	午後(12~18時)	824	928	487	354	445	3,038		160	
	午後(18~19時半)	189	220	144	93	43	689	19日	36	
	小計	1,288	1,378	799	559	593	4,617		243	
9月	午前(10~12時)	51	163	65	86	80	445		23	
	午後(12~18時)	88	315	213	104	187	907		48	
	午後(18~19時半)	85	45	37	39	46	252	19日	13	
	小計	224	523	315	229	313	1,604		84	
10月	午前(10~12時)	157	215	159	159	163	853		45	
	午後(12~18時)	395	463	533	573	375	2,339	19日	123	
	午後(18~19時半)	84	100	117	139	140	580	(29・30日休館)	31	
	小計	636	778	809	871	678	3,772		199	
11月	午前(10~12時)	155	209	206	192	218	980		52	
	午後(12~18時)	610	520	695	553	505	2,883		152	
	午後(18~19時半)	139	134	121	125	178	697	19日	37	
	小計	904	863	1,022	870	901	4,560		240	
12月	午前(10~12時)	143	228	72	174	167	784		44	
	午後(12~18時)	525	677	672	591	630	3,095		172	
	午後(18~19時半)	147	168	136	166	110	727	18日	40	
	小計	815	1,073	880	931	907	4,606		256	
1月	午前(10~12時)	124	207	206	184	271	992		52	
	午後(12~18時)	448	598	899	809	772	3,526		186	
	午後(18~19時半)	165	202	238	164	207	976	19日	51	
	小計	737	1,007	1,343	1,157	1,250	5,494		289	
2月	午前(10~12時)	301	239	239	187	179	1,145		57	
	午後(12~18時)	781	749	669	575	514	3,288		164	
	午後(18~19時半)	227	191	203	157	92	870	20日	44	
	午後(19時半~21時)	60	70	53	56	8	247	(閉館延長期間7日)	35	
	小計	1,369	1,249	1,164	975	793	5,550		278	
3月	午前(10~12時)	56	101	121	92	80	450		20	
	午後(12~18時)	183	261	269	295	209	1,217		55	
	午後(18~19時半)	78	85	81	91	89	424	22日	19	
	小計	317	447	471	478	378	2,091		95	
合計		7,121	8,578	8,284	7,398	6,955	38,336	199日	193人/日	
※		目視で数えた値。								
		赤外線式計測カウンターで測定した値。								
		2/1~2/9 閉館時間延長時の値								

表 7 平成 27 年度アカデミック・コア イベント実施状況

	主催者(所属等)		種 別	内 容	参加者数
6 月	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	6
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	13
			見学	静岡大学 大学院工学研究科教授 グローバル改革推進機構特任准教授	2
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	公開授業	「学習支援概論」～身近な相談相手としての大学職員～ ゲストスピーカー:吉田慶太氏(文部科学省 生涯学習政策局 男女共同参画学習課 消費者教育推進係)	4
7 月	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	イベント	27年度後期科目説明会 「学びをデザインする」	8
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	6
	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第1弾 「優が狙えるレポートはどう書く？」	34
			見学	岐阜県高等学校長代表懇談会	20
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	6
	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	イベント	27年度後期科目説明会 「学びをデザインする」	13
	教育推進・学生支援機構 学修支援部門	加藤直樹 廣内大輔	見学	岐阜高等専門学校職員	4
	医学教育開発研究センター(MEDC)	今福輪太郎	公開授業	「学習支援概論」～グループ学習の手法～	3
	総合企画部総務課		イベント	学長記者会見	15
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	10
			見学	立命館大学理工学部環境システム工学科教授 廣瀬幸弘氏	1
中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	3	

	教育推進・学生支援機構 学修支援部門 教育企画立案学生チーム	渡辺祐子	イベント	「全共どう思う？」	5
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	13
	情報部・学術情報課	福永由美子	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第2弾 「おはなしユニットしゃっぽ」(図書館共済)	26
8 月	情報部・学術情報課	伴場宏二	見学	岐阜県図書館職員	2
	教育学部	中村琢	イベント	中学生科学探究ラボ	10
	男女共同参画推進室		見学	カモミールこども大学	28
	教育推進・学生支援機構 学修支援部門(メディア教育)	篠田成郎	イベント	AIMS-Gifu 活用効果 FD 意見交換会	35
9 月	地域減災研究センター	高橋広昭	イベント	清流の国ぎふ防災減災センター コーディネート会議	40
10 月	グローバル推進本部国際 企画課	近藤佳世	イベント	第5回 English Lounge 「Japanese Hospitality」	35
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	工学研究科 M 応用情報 学専攻	宮島健人	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第3弾 「Python 講座」	11
	グローバル推進本部国際 企画課	近藤佳世	イベント	第6回 English Lounge 「Open Topic」	30
	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	見学	岐阜市教育委員会 教育立市政策審議監 石原徹 也氏 教育政策課 後藤氏	2
	教育推進・学生支援機構	廣内大輔	見学	学校法人誠広学園 平成医療短期大学 リハビリテーション学科理学療法専攻 教授 河合克 尚氏	1
	中日新聞 羽島通信部 岐阜大学教育企画立案学 生チーム	大島康介氏 長屋諒	イベント	新聞カフェ	5

	岐阜大学教育企画立案学生チーム	岩崎誠	イベント	全国ビブリオバトル2015～首都決戦～地区決戦予選会 取材:岐阜チャンネル・岐阜新聞・中日新聞 観覧:慶応義塾大学特任フェロー杉山伸氏 教育委員会石原氏・後藤氏	23
	中日新聞 羽島通信部 岐阜大学教育企画立案学生チーム	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	学術国際部社会連携課産学連携係	祖父江利佳	イベント	岐阜大学フェア2015 「学び、究め、貢献する岐阜大学 地域とともに歩む大学」	
11月	グローバル推進本部国際企画課	近藤佳世	イベント	第7回 English Lounge 「Tips for Learning English」	30
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	3
	岐阜大学教育企画立案学生チーム	佐藤直輝	イベント	第1回全カプレゼン大会	7
	グローバル推進本部国際企画課	近藤佳世	イベント	第8回 English Lounge 「Sports」	29
	岐阜大学男女共同参画推進室	安田真由美	イベント	地域循環型研究者育成・支援プログラム ロールモデル講演会 「地方都市での女性研究者の役割 そのワークライフバランスについて」 講師:宮崎理枝氏(大月市立大月短期大学)	
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	6
	工学部 応用情報学科 教育学部 国語教育講座	立川彩子 秋本明日香	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第4弾 「メールの書き方講座」	6
	岐阜大学教育企画立案学生チーム	佐藤直輝	イベント	第2回全カプレゼン大会	5
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	4

12 月	工学研究科 M 応用情報学専攻	宮島健人	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第5弾 「プログラミング概論」～Programing for Everyo ne～ 講師:ピキ・ジェナロ・ジュニア・カニヤス(工学部 社 会基盤工学科 学術研究補佐員)	4
	情報部・学術情報課	福永由美子	見学	岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会	7
	グローバル推進本部国際 企画課	近藤佳世	イベント	第9回 English Lounge 「Stress Release」	32
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	3
	グローバル推進本部国際 企画課	加藤尚弘	イベント	地方創生・外国人留学生交流フォーラム ～海外ビジネスに取り組む岐阜の企業～ 講師: 株式会社十六総合研究所 部長 古池正広氏 浅野燃系株式会社 代表取締役 浅野雅己氏 岐阜産研工業株式会社 代表取締役 林敬一郎氏	23
	岐阜大学教育企画立案学 生チーム	佐藤直輝	イベント	第3回全カブレゼン大会	7
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	3
	総合企画部総務課広報係	松永健太	その他	CCNケーブルテレビ取材	3
1 月	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	4
	情報部・学術情報課	福永由美子	見学	愛知教育大学 図書館職員	11
			見学	岐阜市議会議員 長屋千歳議員 岐阜市教育委員会 教育立市政策審議監 石原徹 也氏 次長兼教育政策課長 原昭雄氏	3
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	3
	工学部 応用情報学科 教育学部 社会教育講座	加藤悠馬 村松祐	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第6弾 「ICTと教育に関する公開研究会」	6
	グローバル推進本部国際 企画課	近藤佳世	イベント	第10回 English Lounge 「New Year's Resolution」	32

	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	5
	工学研究科 M 応用情報学専攻 教育学部 国語教育講座	宮島健人 秋本明日香	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第7弾 「失敗しないレポートの書き方講座」	4
	岐阜大学教育企画立案学生チーム	岩崎誠	イベント	第2回ビブリオバトル	9
	工学部 社会基盤工学科	木下幸治	その他	社会基盤工学科ラーニングcommons (1, 2年定期試験対策)	2
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	4
	地域協学センター	今永典秀	イベント	社会人カフェトーク サポート企業: OKB 大垣両立銀行 榎本ビーエー株式会社	9
	工学部 社会基盤工学科	木下幸治	その他	社会基盤工学科ラーニングcommons (1, 2年定期試験対策)	4
2 月	グローバル推進本部国際企画課	近藤佳世	イベント	第11回 English Lounge 「Open Topic」	19
	情報部・学術情報課	福永由美子	見学	豊橋技術科学大学 図書館・施設課職員	5
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	7
	工学部 社会基盤工学科	木下幸治	その他	社会基盤工学科ラーニングcommons (1, 2年定期試験対策) 都市交通計画 (2年)、線形代数Ⅱ・微分積分Ⅱ (1年)	20
	工学部 社会基盤工学科	木下幸治	その他	社会基盤工学科ラーニングcommons (1, 2年定期試験対策) 応用測量学 (2年)、構造力学Ⅰ・プログラミング基礎 (1年)	20
	工学部 社会基盤工学科	木下幸治	その他	社会基盤工学科ラーニングcommons (1, 2年定期試験対策) 土質力学Ⅱ (2年)	10
	中日新聞 羽島通信部	大島康介氏	イベント	新聞カフェ	12
	岐阜大学教育企画立案学生チーム	岩崎誠	イベント	第3回ビブリオバトル	6

	工学研究科 M 応用情報 学専攻 工学部 電気電子・情報 工学科	宮島健人 小川岳大	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第8弾 「TOEIC 講座～取り組み方～」	5
3 月	工学部 機械工学科 工学部 電気電子・情報 工学科	二村光祐 佐藤葵	イベント	アカデミック・コアオリジナル企画第9弾 「センター試験を解いてみよう」	5
				合計	816

安を達成できる勢いである。4つあるグループ学習室についても、教員採用試験のための面接練習など、積極的に利用されている。学生による自主ゼミも少しずつではあるが、確認され始めた。次年度からは、このアカデミック・コアをもっと学生に周知するために、初年次セミナーの中の図書館ツアーを見直し、その中に、コアの紹介、コアイベントの体験を盛り込んだ改革案を提言。採用された。

なお、年度末には弘前大学から本学アカデミック・コアの取り組みについて報告して欲しい旨依頼があり、廣内が先方に出張して講演を行った。

3. 課題及び次年度の取組方針

【初年次教育担当】

1) 能動的学修科目の改善と検証

「学びをデザインする」の開講方法について、以下の点を中心に改善する。第一には、「アドバイザー教員」の確保の仕方である。今年度は、「アドバイザー教員リスト」を作成したが、これは事前に、教員を個別に訪ね、この科目の趣旨を説明し、賛同を取り付けねばならない点で、時間がかかり過ぎた。しかも、履修者は必ずしもこのリストの中からアドバイザー教員を選ぶわけではないため、労多くして実り少ない感が否めない。何より、多大な労力を要することは、今後の継続性を危うくする。よって、アドバイザー教員リストに依らない方法を考えたい。

第二に、学生への周知と説明会の実施方法も改善せねばならない。この科目は、事前に説明を聞いた10月までに準備しておく必要がある。すなわち、前学期のうちに科目の存在と事前準備の必要を知らしめなければならない。次年度からは、初年次セミナーの担当教員に協力を依頼して、授業の中でチラシの配布をお願いするなどしたい。

この他、学生論文コンテストについては、「学びをデザインする」との関係を見直し、この科目を履修したかどうかに関わらず応募できるものとする。また、名称を、「学生レポートコンテスト」へと改め、既習科目で提出済みのレポートで応募できるようにする。

2) 初年次セミナー改革の検証及び更なる展開

初年次セミナーについては、今年度を実施した学生へのアンケート調査を今後も引き続き実施し、より良い授業にするための方策を検討する。今年度を実施した図書館ツアーに関しては、問題点等を更に検証し、アカデミック・コアをより有機的に活用したツアーを企画する予定である。また、次年度は、各学部で実施されているセミナーの取り組み事例などを紹介するFDやワークショップ等の開催も企画する予定である。

3) その他

・学修支援部門ホームページの充実化

「教員のALへの取り組み」や「学生の教育改善への参画」については、具体的な実践報告や活動記録を随時更新する必要がある。アカデミック・コモンズ（特に、アカデミック・コア）での活動内容や教育的機能の説明もさらに充実させる必要があるといえる。また、データに基づく調査・報告としてAIMS-Gifu利用分析結果や初年次セミナー報告書、部門主催FD資料の公開は引き続き実施し、その他にデータに基づく調査・報告としてActive Learningに有用な報告・資料があれば積極的に公開したいと考える。

【メディア教育担当】

1) 本学におけるLMS（Learning Management System）のあり方に関する検討

現在はBlackboardLearnを本学のLMSとして採用しているが、学生および教員向けのアンケート分析などから、どのような機能が必要であるか、あるいは不要であるか、便利であるか、無いよりはあった方が良い・・・などの利用者の要望を把握・整理し、これに基づく最適なLMSのあり方を検討することが必要である。

2) メディア教育担当のミッション再検討

メディア教育担当は平成25年度までのAIMS-Gifuワーキンググループから継続されて活動してきている。しかし、その後のAIMS-Gifu活用効果の分析・検討などから、AIMS-Gifuは単なる道具であり、その中身となる教材や道具の使い方などがより本質的に重要となることが分かってきている。また、アカデミック・コアなどの能動的学修を支える場においても通信手段・端末・アプリケーション・情報内容などのメディアに関わる学修支援の重要性が増してきている。こうした最近の状況変化に伴い、メディア教育担当のミッションについて再検討することが必要になっている。

【アカデミック・コア運営チーム】

アカデミック・コアでは、まだこの施設を利用した経験のない学生を呼び込むことに引き続き注力したい。同時に、スタッフの、学習支援者としての能力向上にも力を入れたい。これには、他大学ラーニングコモンズへの視察や交流が効果的であると考えている。学生スタ

ップによる学習支援活動の更なる充実も課題である。この点を改善するためには、教員が、授業とコアの利用を連動させていくことが重要であるように思われるため、そのためのアイデアを提示したい。また、そもそも、本学の学生がどのような支援を必要としているのか、高大接続・高大転換に伴う学習上の課題（利用者のニーズ）調査も必要となろう。

アカデミック・コア内の ICT 機器（タブレット、ディスプレイ、テレビ会議カメラ、電子黒板）の本格活用も進めねばならない。

この他、夏休みや春休みといった長期休暇中の利用者をどう確保していくか、学外者への開放も含めて検討していく。

平成 27 年度学生生活支援部門活動報告

部門長 村瀬 忍

1. 会議等の記録

部門の会議は表 1 にしめすように、8 回開催した。

表 1 学生生活支援部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 17 日	障害学生支援室の活動報告について
5 月 20 日	学外合宿研修施設について 道路交通法の改正に係る自転車の取り締まりについて 障害学生支援室の活動報告について
6 月 10 日	課外活動支援事業について 障害学生支援室の活動報告について
7 月 15 日	障害学生支援室の活動報告について
9 月 30 日	障害学生支援室の活動報告について
11 月 25 日	新入生への修学上の支援についての調査様式について 障害学生支援室の活動報告について
2 月 3 日	平成 27 年度理事（教学担当）表彰について 障害学生支援室の活動報告について
3 月 3 日	平成 28 年度学生団体設立承認について 障害学生支援室の活動報告について

2. 活動内容及び成果

(1) 課外活動支援

学生の課外活動について、成績等の実績を勘案して経費を配分し、活動の支援を行った。

(2) 学生表彰

特に顕著な成績を挙げ、課外活動の振興に功績があったと認められる学生に対し、学長表彰を行った。また、今年度優秀な成績を修めた個人や団体にも、教学担当理事表彰を行い、学生の課題活動について活性化を図った。

(3) 障害学生支援

障害学生支援室は、4月に舩越高樹助教を新任として迎え、学生の修学支援を継続した。少人数ではあるものの、学内の関連部署との連携を図り、修学において支援ニーズのある学生への支援実績を蓄積できた。また、5月には教育学部の教授会に於いて、障害学生支援についてのFDを開催し、学内でのさらなる支援体制づくりを行った。さらに12月2日に、筑波大学竹田一則先生を招いて「障害者差別解消法と大学における障害学生支援～合理的配慮にもとづく支援を考える～」をテーマとするFDを開催した。これにより、教職員および学生は、障害者差別解消法の施行を目前に控えて、岐阜大学が求められる障害学生支援の取り組みの内容について理解を深め、来年度に備えることができた。

(4) 学生生活支援

学生の自転車利用における法改正内容の周知、学外施設の利用の審議、サークルや部活動の問題への対処など、学生生活の安心安全を確保するための活動を行った。

3. 課題及び次年度の取組方針

課外活動支援および学生表彰をはじめとした学生生活の支援は、今年度の方針にならって取り組む予定である。

障害学生支援については、新たに作成した新入生への修学上の支援についての調査様式をもとに、障害のある学生へ修学支援を継続する。また、全学共通教育の授業を利用して、学生サポーターの育成を開始する。

平成 27 年度地域教育連携部門活動報告

部門長 加藤 直樹

1. 会議等の記録

地域教育連携部門は、地域教育機関との連携を推進すべく、大学間単位互換授業を含むネットワーク大学コンソーシアムの運営及び事業の実施に関する事、サテライトキャンパスの運営及び事業の実施に関する業務を実施した。

本報告においては、部門会議に関わる事項に加えて岐阜大学が事務局を担うネットワーク大学コンソーシアム岐阜の会議、事業を報告する。

(1) 部門会議等の記録

表 1 に会議の開催日と主な審議議題を示す。

表 1 地域教育連携部門会議

開催日	主な審議議題
5月29日	(1) 平成27年度サテライトキャンパス予算(案)について (2) 岐阜大学サテライトキャンパス規程の一部変更について (3) 岐阜大学サテライトキャンパス使用に関する申合せの一部改正について (4) サテライトキャンパスの利用方針について 1) 今年度後学期サテライトキャンパス開館(夜間)の利用について 2) 平成28年度以降 ア) サテライトキャンパス利用枠について イ) サテライトキャンパス早朝クラス(仮称)について ウ) サテライトキャンパスアカデミッククラブ(仮称)について エ) サテライトキャンパス開館(夜間)時間の検討について オ) サテライトキャンパスを利用する授業の開講プロセスについて カ) サテライトキャンパス建物使用料について (5) 学生による地域課題解決事業(ネットワーク大学コンソーシアム岐阜地域連携・産学連携部会)について

(2) ネットワーク大学コンソーシアム会議等の記録

表2に会議の開催日と主な審議議題及びイベント事業について示す。

表2 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜にかかる諸会議

開催日	主な審議議題, イベント事業
4月21日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会 ① 平成26年度岐阜県教員免許状更新講習の決算について ② 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習の第一次受付状況について ③ 平成27年度必修講習について ・ガイドライン ・必修講習講師 ④ 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習「受講案内」(案)について ⑤ 教員免許状更新講習の選択領域(特定科目)の充実について
5月7日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会必修分科会 ① 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習受付状況について ② 必修講習の実施について ③ 講習担当者の会場・日程の割振りについて ④ 会場責任者行動マニュアルについて ⑤ 評価テストについて ⑥ 教員免許更新講習の改善に係る検討会議の「教員免許更新制度の改善について」(報告)について
5月28日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜地域連携・産学連携部会 ① 会長あいさつ ② 平成27年度委員より自己紹介 ③ 平成26年度の事業報告について ④ 平成27年度事業について
6月3日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜企画調整会議 ① 平成26年度事業報告・決算(案)について ② 平成26年度第2回運営協議会報告について ③ 平成27年度負担金(案)について ④ ネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加校負担金規程等の一部改正について ⑤ 部会報告及び提案について
6月23日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会講習運営分科会 ① 必修講習担当者について ② 追加講習について ③ 平成27年度更新講習の申込結果について ④ 平成27年度更新講習の開設費用について ⑤ 更新講習システム(KMK-Gifuシステム)の改修について ⑥ 更新講習修了確認申請のご案内(岐阜県教育委員会教職員課)
6月16日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜幹事会(メール会議) ① 平成26年度事業報告・決算(案)について ② ネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加校負担金規程等の一部改正について ③ 平成27年度負担金(案)について
6月26日	第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜運営協議会 ① 平成27年度事業計画及び予算について ② 平成26年度事業報告・決算(案)について ③ ネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加校負担金規程等の一部改

	正について ④ 平成 27 年度負担金（案）について ⑤ 平成 28 年度以降の副代表・監事・部会長について ⑥ ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の事業の在り方について ⑦ 平成 27 年度事業の実施状況等について
6 月 29 日	第 1 回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会 ① 平成 26 年度高大連携・情報発信事業計画について ② 平成 27 年度高大連携・情報発信事業実施計画
8 月 26 日	第 2 回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会必修分科会（メール会議） ① 平成 28 年度必修講習及び選択必修講習の日程（案）について
8 月 31 日	第 2 回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会 ① 平成 27 年度高大連携セミナーの実施計画について
9 月 12 日 13 日	全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム 【会場：金沢工業大学扇が丘キャンパス】 ① 全国大学コンソーシアム協議会代表挨拶ほか ② 基調講演 テーマ「地方創生と大学の果たす役割」 ③ ポスターセッション ④ 分科会 ・第 1 分科会「地域創成における大学コンソーシアムの可能性を考えるワークショップ」 ・第 2 分科会「大学における「奨学生」の現状と将来の方向性について」 ・第 3 分科会「教育委員会と大学コンソーシアムとの連携」 ・第 4 分科会「地域における発達障害のある幼児への支援力向上のための佐賀県 5 大学・短期大学の連携と取組み」 ・第 5 分科会「自治体や地域と連携した留学生受入れ環境整備にむけて」 ・第 6 分科会「地域活性や地域サービスの担い手となる人材の育成」
9 月 10 日	第 2 回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会運営分科会 ① 平成 27 年度岐阜県教員免許状更新講習受講状況について ② 平成 28 年度に向けた更新講習システム（KMK-Gifu）の改修について ③ 平成 27 年度岐阜県教員免許状更新講習選択科目分担金について ④ 平成 28 年度岐阜県教員免許状更新講習日程について ⑤ 必修講習及び選択必修講師について
9 月 29 日	第 3 回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会必修分科会 ① 平成 28 年度必修講習及び選択必修講習のガイドライン（案）について ② 平成 28 年度必修講習及び選択必修講習の講師について ③ 平成 28 年度必修講習及び選択必修講習の責任者（細目長）について ④ シラバスについて ⑤ 評価テストについて ⑥ 岐阜大学教員免許状更新講習実施規程等の一部改正（案）について

10月28日	<p>第3回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会</p> <p>① 平成27年度高大連携セミナーの実施計画について</p> <p>② 平成28年度の事業計画について</p>
11月17日	<p>第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜企画調整会議</p> <p>① 部会からの報告及び事業計画（素案）について</p> <p>② 平成28年度予算及び負担金（素案）について</p> <p>③ パンフレット2016（案）について</p>
11月20日	<p>第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教育連携推進部会</p> <p>① 平成27年度単位互換科目の受講状況について</p> <p>② 平成27年度社会人公開授業の受講状況について</p> <p>③ 平成27年度共同プログラム及び公開講座の実施経過について</p> <p>④ 平成28年度単位互換科目選定について</p> <p>⑤ 平成28年度共同プログラム（学生対象）の企画について</p> <p>⑥ 平成28年度共同プログラム（教職員対象）の企画について</p> <p>⑦ 平成28年度共同プログラム（一般対象）の企画について</p> <p>⑧ 平成27年度公開講座の企画について</p>
12月4日	<p>高大連携セミナー</p> <p>【会場：中部学院大学各務原キャンパス】</p> <p>① 開会式</p> <p>② 講演会「障害のある児童生徒・学生への合理的配慮～テクノロジー利用の観点から～」</p> <p>③ 分科会</p> <p>・第1テーマ「多様な生徒・学生（発達障がい等）の進路指導・教育相談」</p> <p>・第2テーマ「看護・医療系、学部における学生育てと求められる学生像」</p> <p>・第3テーマ「教員養成課程における学生育てと求められる学生像」</p> <p>④ 分科会報告</p> <p>⑤ 閉会式</p>
12月10日	<p>第3回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会講習運営分科会</p> <p>① 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習受講結果について</p> <p>② 平成28年度選択必修領域導入に伴う受講申込書等の様式変更について</p> <p>③ 平成28年度岐阜県教員免許状更新講習について</p> <p>④ 選択講習開設数について</p> <p>⑤ 必修領域講習及び選択必修領域講習講師について</p> <p>⑥ 平成28年度岐阜県教員免許状更新講習受講者募集のお知らせ（案）について</p> <p>⑦ 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習選択科目分配金（秋季実施）の補正について</p> <p>⑧ 遅刻者の取扱について</p>
12月12日	<p>「学生による地域課題解決提案事業」成果報告会【会場：岐阜大学サテライトキャンパス】</p> <p>① 開会あいさつ 審査員紹介、発表方法・審査基準説明</p> <p>② 成果報告</p> <p>③ 審査員の意見交換（表彰団体決定）</p> <p>④ 審査結果発表</p> <p>⑤ 閉会あいさつ</p>
12月21日	<p>第4回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会</p> <p>① 平成27年度高大連携セミナーの実施報告等</p> <p>② 平成28年度の事業計画について</p>

2月9日	<p>第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教育連携推進部会</p> <p>① 平成28年度単位互換科目選定について</p> <p>② 平成28年度共同プログラム及び公開講座について</p> <p>③ 平成28年度単位互換履修生にかかる事務処理マニュアル(案)について</p> <p>④ e-Learningの在り方を見直す勉強会について</p> <p>⑤ ネットワーク大学コンソーシアム岐阜単位互換制度のアンケート調査について</p>
2月4日	<p>第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会</p> <p>① 平成27年度岐阜県教員免許状更新講習受講結果について</p> <p>② 平成28年度岐阜県教員免許状更新講習募集要項の配布について</p> <p>③ 平成28年度更新講習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程について ・開催講習について <p>④ 必修領域講習等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインについて ・必修領域講習及び選択必修領域講習講師について <p>⑤ 教員免許状更新講習に関する協定書・覚書について</p> <p>⑥ 岐阜県教員免許状更新講習にかかる講師及び会場責任者の前泊・後泊について</p>
2月23日	<p>第3回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜企画調整会議</p> <p>① 部会からの報告及び事業計画(案)について</p> <p>② 平成28年度予算及び負担金(案)について</p> <p>③ パンフレット(案)について</p> <p>④ 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加報告</p>
3月4日	平成28年度岐阜県教員免許状更新講習説明会
3月14日	<p>第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜幹事会</p> <p>① 教員免許状更新講習部会報告</p> <p>② 高大連携・情報発信部会報告</p> <p>③ 教育連携推進部会報告</p> <p>④ 地域連携・産学連携部会報告</p> <p>⑤ 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム・同協議会総会について</p> <p>⑥ その他(学長等の交代)</p> <p>⑦ 平成28年度役員等について</p> <p>⑧ 平成28年度事業計画(案)について</p> <p>⑨ 平成28年度予算(案)について</p> <p>⑩ 平成28年度参加校負担金について</p> <p>⑪ ネットワーク大学コンソーシアム岐阜「将来ビジョン2016」について</p> <p>⑫ 平成27年度運営協議会委員・幹事会幹事・部会委員等について</p>
3月14日	<p>e-Learningの在り方勉強会</p> <p>① 勉強会における教育的課題について</p> <p>② 勉強会における技術的課題について</p> <p>③ 位互換授業としての授業デザインの課題</p>
3月20日	<p>第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜運営協議会(メール会議)</p> <p>① 平成28年度役員等について</p> <p>② 平成28年度事業計画(案)について</p> <p>③ 平成28年度予算(案)について</p>

部会担当校及び部会長

部会名	所属	部会長氏名
教育連携推進部会	岐阜大学学長補佐 岐阜大学総合情報メディアセンター	加藤 直樹
教員免許状更新講習部会	岐阜大学教育学部	別府 哲
高大連携・情報発信部会	中部学院大学教育学部	宮本 正一
地域連携・産学連携部会	岐阜県立看護大学看護学部長	北山 三津子

2. 活動内容及び成果

平成 27 年度の実績を以下に示す。

(1) サテライトキャンパスの運営及び事業

a) 利用目的：授業

前学期 岐阜大学開講科目 13 科目 履修者数 476 名 延べ履修者数 5,218 名

後学期 岐阜大学開講科目 11 科目 履修者数 186 名 延べ履修者数 2,581 名

b) 利用目的：講演会、会議等

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟校の利用（本学を除く 延べ）

5 校（団体） 272 名

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟校以外の利用（本学を含む 延べ）

455 校（団体） 14,363 名

(2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の運営及び事業

a) 教員免許状更新講習部会関係

開設講習数：361 講習、受講者数：7,138 名

b) 教育連携推進部会関係

① 単位互換事業

前学期・後学期合計：91 科目開設、90 名受講

② 社会人公開授業

前学期：13 科目開設 59 名受講，後学期：14 科目開設 24 名受講

③ 共同プログラム

岐阜・風景映画プロジェクト：延べ受講者数 32 名

障がいのある児童・生徒の支援と相談：延べ受講者数 219 名

人材育成プログラム：延べ受講者数 159 名

④ 公開講座

「岐阜を知ろう もっと識ろう」

講座回数 11 回，申込者数 59 名，延べ受講者数 205 名。

「落語を笑遊する～噺家列伝～」

講座回数 15 回，申込者数 88 名，延べ受講者数 540 名。

c) 高大連携・情報発信部会関係

高大連携セミナー

開催日： 平成 27 年 12 月 4 日（金）13 時 20 分～17 時

場所： 中部学院大学各務原キャンパス

内容： 講演及び 3 分科会

参加対象： 高校関係者、大学関係者及び岐阜県・コンソーシアム事務室

参加人数： 184 名

d) 地域連携・産学連携部会「学生による地域課題解決提案事業」

申請： 7 大学等 16 件応募 16 件採択

成果報告会：平成 27 年 12 月 12 日（土）13 時～17 時 15 分

場所： 岐阜大学サテライトキャンパス

発表： プレゼンテーション 16 件、ゲスト参加 1 件

参加者： 約 100 名（学生、大学関係者、高校関係者ほか）

3. 課題及び次年度の取組方針

（1）サテライトキャンパス

岐阜大学サテライトキャンパスの利用を一層活発にするため、平成 28 年度から岐阜大学教養科目の一部を通常よりも早い午前 8 時から実施する。各学期とも 3～4 科目を実施する。

また、岐阜大学名誉教授による市民向け公開講座として、岐阜大学サテライトキャンパス公開講座「アカデミッククラブ」を前学期及び後学期に分けて全 21 講習を開講する。

大学生及び市民に向けてサテライトキャンパスに市民を引きつけるプラス 1 の新規講座の企画立案内容が課題である。

（2）ネットワーク大学コンソーシアム岐阜

高大接続及びコンソーシアム加盟校の学生同士が交流する機会が少ないため、これを改善する新たなプログラム企画に取り組む予定である。

a) 教員免許状更新講習部会関係

平成 28 年度は、必修領域講習及び選択必修領域講習を飛騨・東濃・中濃・西濃・岐阜の地区毎に全 40 講習を開催し、最大 2,000 名の受講者への便宜を図る。また、〈第 I 期〉選択領域講習を、12 機関 2 教育委員会が 346 講習を開設し、最大 9,240 名の受講者に対応できる体制とする。

また、幼稚園教諭免許を有する認定こども園及び保育所（園）の職員に対する説明会を岐阜市、飛騨地区、下呂市、郡上市等で実施し、岐阜大学に来校できない受講予定者への説明会を充実させる。

b) 教育連携推進部会関係

① 単位互換事業

県内大学等が授業科目を提供し、自大学等で開講されない分野の科目や時間的制限から受講が困難である科目を相互に補完することができる。

科目は、各大学等の対面授業のほか、サテライトキャンパスでの対面授業、テレビ会議システムによる双方向同時中継授業、e-ラーニング（複数回の対面授業導入）授業の形態で開講する。

○平成 28 年度は、110 科目（前学期 52 科目 後学期 58 科目）を開設する。

② 社会人公開授業

単位互換授業のうち、社会人や高校生に開放する授業を社会人公開授業として、対面・遠隔会場・e-ラーニングで提供している。単位互換科目のうち、コンソーシアム加盟機関内の複数機関で共同開催する共同授業も開設しており、共同授業の一部は自治体へ提供し、社会人の受講に配慮している。

○平成 28 年度は、29 科目（前学期 16 科目、後学期 13 科目）を開設する。

③ 共同プログラム

コンソーシアム加盟校が共同で運営するプログラム。JR 岐阜駅前「岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階」の岐阜大学サテライトキャンパス（一部は情報科学芸術大学院大学）で開講し、加盟校学生や社会人、高校生の受講に配慮する。

【「岐阜・風景映画」プロジェクト】

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟機関の学生が、「風景映画」の製作を通じ、岐阜の風景を再発見するプロジェクトを実施する。「風景映画」の撮影はビデオカメラに限定せず、デジカメによる写真やスマートフォンによる動画なども素材として活用する。

○ガイダンス、講義及び作品制作は、6月下旬の土曜日から毎週、大垣市にある情報科学芸術大学院大学で行い、全4回で作品を完成させる。

○平成28年6月中旬から全4回で講義・プランニング・撮影・制作を行い、7月9日に上映会を実施する。

【人材育成プログラム】

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟機関の教職員を対象に、高等教育機関が抱える課題について学内外の有識者の講義を基本に、共に学び、日常業務で活用できるプログラムを目指します。講義内容は、大学業務の改善、教育の質向上、学生のキャリア支援、事務職員のキャリア形成など多岐に亘るテーマを提供する。

なお、直接会場に来場できない加盟機関に対しては、テレビ会議システムでの配信により受講できるように配慮する。

○平成28年6月から10月までの期間中に、5回（1回2時間）実施する。

【発達障がいのある生徒・児童の支援と相談】

発達障がいについて基礎知識を正しく理解するとともに、現在障がいのある児童・生徒をもつ保護者への具体的な支援の在り方から発達障がいに関連する支援機関との情報交流を通じて、障がいのある児童・生徒及び保護者等が連携できるよういろいろなプログラムを提供する。

受講対象は、幼稚園・保育園・認定子ども園、小・中・高校、特別支援学校等の教諭、保護者及び関心のある方とします。

○平成28年4月下旬から10月までの期間中に、9回（1回90分又は3時間）実施する。

○受講料（コンソーシアム加盟機関からの参加は無料）は、9,000円

④ 公開講座

今年度は、平成27年度に扱えなかった噺家や演目にも言及しつつ、噺および噺の周辺（世界）について考察する。さらに、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟機関の教員が最新の研究成果を基に、「岐阜を知ろう もっと識ろう」を共通テーマに加盟校の講師が講義する。

○「落語を笑遊するⅡ～噺の周辺～」を通年で15回開講する。

○「岐阜を知ろう もっと識ろう」を通年で12回開講する

c) 高大連携・情報発信部会関係

① 高大連携セミナー

高校と大学等高等教育機関では、高大接続教育や入試制度など共有する課題が多く、

お互いに情報交換と共同した事業の推進が求められている。セミナーのテーマは時勢に合わせて決定する。

d) 地域連携・産学連携部会関係

平成 23 年度から実施している「学生による地域課題解決提案事業」を引き続き実施する。学生が地域課題に向き合い、“地域“を学習の場とすることの教育効果は大きい。

また、地域社会においても学生を交えて課題を考えることは、新たな発想とともに地域活性化の機会と捉えることができる。

平成 27 年度教職課程支援部門活動報告

部門長 別府 哲

1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表 1 のとおりである。

表 1 教職課程支援部門会議

開催日	主な審議議題
4月24日	(1)平成 27 年度教育実習・養護実習について
6月5日	(1)教育実習・養護実習の事後指導の予定について (2)教職実践演習の計画について (3)3 年次編入学生の教職科目の履修確認について (4)平成 27 年度更新講習申込結果について (5)選択講習担当者の手引き
7月28日	(1)教育実習・養護実習事後指導の計画について (2)教育実習・養護実習事前事後指導の評価について (3)平成 27 年度後学期全学共通教職科目の開講について (4)平成 27 年度教職実践演習の計画について (5)履修登録の取消について (6)平成 28 年度教育実習・養護実習の事前指導の計画について (7)平成 28 年度教育実習・養護実習の実習実施予定校について
10月28日	(1)教育実習・養護実習事前指導について (2)平成 28 年度全学共通教職課程の授業予定について (3)教育推進・学生支援機構教職課程支援部門における非常勤講師の採用に関する申合せ（案） (4)平成 27 年度後学期非常勤講師の採用について (5)平成 28 年度岐阜県教員免許状更新講習について
1月27日	(1)平成 28 年度岐阜県教員免許状更新講習（選択領域）について
3月24日	(1)平成 27 年度後学期の受講及び成績評定の状況について

2. 活動内容及び成果

(1)「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表2,表3にみられるように,教育学部以外で1年生から4年生あわせて,前期で152名,後期で142名の学生が,教員免許取得のための「教職課程」を受講した。そして表4に示したように,4年生のうち17名が教員採用試験を受験し合格者は4名(合格率23.5%)であった。

表2 平成27年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部*	応用生物科学部			医学部
			生産環境	応用生命	獣 医	看 護
1年生	54	9	23	11		11
2年生	24	11	6	3		4
3年生	30	7	15	4		4
4年生	44	15	16	6		7
院 生						
合 計	152	42	60	24		26

表3 平成27年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部*	応用生物科学部			医学部
			生産環境	応用生命	獣 医	看 護
1年生	48	7	20	10		11
2年生	22	9	6	3		4
3年生	30	7	15	4		4
4年生	42	14	16	5		7
院 生						
合 計	142	37	57	22		26

*平成24年度以前入学者は数理デザイン工学科、平成25年度以降入学者より電気電子・情報工学科応用物理コースとする。

表4 平成27年度・教員採用試験結果 [人]

		教員採用選考試験			
		一次選考試験		二次選考試験	
学部	区分(教科)	受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	5	1	1	1
応用生物科学部	高等学校教諭(理科)	7(1)	2	2	1
	高等学校教諭(農業)	1	1	1	1
医学部看護学科	養護教諭	4	2	2	1

()は院生で内数

(2) 教職課程の充実について

教職支援部門と各学部での授業の連携をより充実させ、取り組みの協働を図るため、教職支援部門特任教授と各学部で授業をご担当いただいている先生方との対面会議（「教職科目全体を俯瞰した協議会」）を初めて開催した(第一回を平成28年3月7日)。今後、年2回ほどこういった会議を持ち、一貫性をもった教職課程の構築と指導の充実を図っていくこととした。

3. 課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物学部・医学部看護学科での教員免許取得希望者に対し、内容と系統性を十分吟味した授業と、個々の状況に応じた丁寧な指導を徹底していきたい。その際、教職課程支援部門と各学部の連携をより充実すること、また、岐阜県や近隣県の高校に対し、岐阜大学の教育学部以外で上記のような教員免許取得が可能であることを広報していくことが今後の課題である。

平成 27 年度キャリア支援部門活動報告

部門長 松居 正樹

1. 会議等の記録

表 1 キャリア支援部門会議

開催日	主な審議議題
5月1日	・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(GULIP)について ・キャリア・就職白書 2014 について
6月5日	・平成 27 年度キャリア支援部門事業計画案について ・平成 27 年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業について
7月10日	・キャリア支援部門 F D について ・卒業生アンケートの実施について
8月7日	・第 3 期中期目標・中期計画の実施計画（1 次案）に対する意見について
9月11日	・「先輩社会人」との交流会の開催について
10月2日	・「先輩社会人」との交流会の開催について ・卒業生アンケート（2 度目の依頼）について
11月6日	・先輩社会人との交流会（10 月 31 日）について ・キャリア支援部門ニュース（2015.10）の配布について
12月4日	・キャリア支援部門 F D の実施結果について ・卒業生アンケートの集計結果について
1月8日	・卒業生アンケートの集計結果に対する意見について
2月5日	・ブラックバイトについて
3月18日	・次年度の事業計画案について ・ブラックバイトについて

表2 イノベーション創出若手人材養成部会会議

開催日	主な審議議題
5月1日	・平成27年度イノベーション創出若手人材養成プログラム及び「産業牽引型イノベーション創出若手人材養成」事後評価について
6月5日	・アイデア・トレーニング・キャンプについて
7月10日	・イノベーション創出若手人材養成プログラムの学外研修プログラム要項の制定について
8月7日	・成績について
9月11日	・平成28年度からのイノベーション創出若手人材養成プログラムについて
10月2日	・平成28年度からのエンライトメント・レクチャーについて
11月6日	・平成28年度プログラムについて ・イノベーションプログラム及びニュースレターの発行について ・「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」への参加（連携機関）について
12月4日	・平成28年4月期実践プログラム募集要項について
1月8日	・平成28年度イノベーション創出若手人材養成プログラム研修生・聴講生の募集について
2月5日	・修了証(講義)の授与について
3月18日	・平成28年度プログラム研修生の応募者数・合格者数について

2. 活動内容及び成果

キャリア支援部門

- ・学生の基盤的能力向上を図るための自主的活動支援
課題を募集し、2つの団体（学生ボラネットと学生保安消防隊）に各5万円の活動支援を行った。（申請及び成果報告時に学生のプレゼンを行った。）
- ・学生ボランティア活動支援
ぎふNPOセンターからコーディネーター・メンター1名が来学し、水曜日及び金曜日の午後学生ボラネットへの助言・指導等活動支援を行った。
- ・先輩社会人との交流会開催
「先輩社会人と語るー学生から社会人への飛躍ー」と題して10月31日（土）の大学祭時に5学部・5名の先輩社会人が参加し、大学時代の生活、就職活動等の経験談について在學生と話し合い交流を図った。（参加者17名）
- ・キャリア形成支援のための卒業生アンケートの実施
卒業後5年・10年・15年の卒業生（3,272名）を対象として郵送で実施し、アンケート結果をキャリア支援部門会議に報告し傾向を分析するとともに、2016年3月発行

のキャリア支援部門ニュースへ掲載した。

- ・キャリア形成に関するFDの開催
「これまでとこれからのキャリア形成」と題して11月に開催した。（学生，教職員34名参加）
- ・研究会への出席
岐阜県インターンシップ推進協議会成果報告会，インターンシップ専門人材養成研修会，学生支援機構各種研修会等へ教職員が出席した。
- ・キャリア支援部門ニュースの発行
部門の活動紹介，卒業生からの寄稿，プロジェクト型インターンシップ等を掲載し2015年10月と2016年3月の年2回発行した。
- ・ブラックバイトへの注意喚起について
学生への相談窓口を提示し，4月ガイダンス時にチラシ配布により周知する。
- ・キャリア形成支援として全学共通教育の授業「現代社会を支える企業」、「社会の多様な働き方」，「キャリア形成論」，「ライフコース論」，「プロジェクト型インターンシップ」（それぞれ2単位）を実施した。プロジェクト型インターンシップについては，7名の参加で，2月15日に成果報告会を行った。
- ・キャリア支援部門会議とイノベーション創出若手人材養成部会会議を合同で毎月1回開催した。

就職部門

- ・求人情報の提供
学生に公開している本学への求人件数（学部受付分を除く）は2月末現在2,772件（昨年同時期1,937件）であった。
- ・就職活動に関する相談
就職活動に関する疑問や悩みの相談から，エントリーシート・履歴書の添削，面接指導など就職活動全般にわたるアドバイスを行っており，その件数は12月末現在で1,372件（窓口対応（随時）558件，相談員対応件数（予約制）814件）であった。
- ・各種事業の実施
 - ①就職（活動支援）ガイダンス
講師による講義や実習，OBや内定者からの体験報告等を就職活動の流れに沿ったテーマ構成で実施し，積極的に取り組む気構えを植えつけることを目的とするもので，6月から1月までの間に計28回開催し，のべ1,500人以上の学生の参加があった。
 - ②公務員業務説明会
就職ガイダンスの一環として，1月20日・27日の2週にわたり16機関を招いて実施しており，合計で182名の学生の参加があった。
 - ③4年生・M2未内定者を対象としたガイダンス

上記ガイダンスは3年生・M1が対象であるが、並行して未内定のまま就職活動を続けている4年生・M2向けの事業として、9月に自身の振り返りと新たなサポートのためのリスタートガイダンスを実施し、7名の学生の参加があった。

④グループ面接体験講座（模擬面接）

採用試験で重視される面接について、実践を通して自信を持った受け答えができるよう、緊張感の中での面接力の向上を図ることを目的として、外注により3月～5月に実施するもので、対象である平成28年3月卒業・修了予定者からのべ225名の参加があった。

⑤グループディスカッション対策講座ほか

最近、採用試験に取り入れる企業・自治体が増えているグループディスカッションやエントリーシートの書き方について、相談員2名が「就活セミナー」として講座を実施するもので、対象である平成28年3月卒業・修了予定者からのべ522名の参加があった。

⑥「岐阜大学学生企業展」の支援

本学の学内合同企業説明会は10数年の歴史を持つ学生有志による「岐阜大学学生企業展」がその役目を担っており、これを唯一の全学合同企業説明会として、また学生のキャリア形成支援（自主活動）を側面から支援している。今年度は3月10日（木）、11日（金）に172社の企業を招いて開催し、749名の学生の参加があった。

⑦外国人留学生の就職支援

留学生は日本の就職活動のルールになじまず、失敗するケースも多いと聞く。そこで前述の就職ガイダンスに加え、10月から2月までの6回にわたって留学生のための就職支援講座を実施した。

イノベ部門

- ・ 文部科学省科学技術人材育成費補助金にて運営されていた「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」が今年度よりキャリア支援部門に統合され、大学独自で運営されることとなった。
- ・ 前学期にエンライトメント・レクチャー（15回）、ビジネス英語（15回）、アイデア・トレーニング・キャンプ（2泊3日）を実施した。今年度よりこれらのプログラムをどれでも1つから自由に受講できる「聴講生」枠を設け、博士後期課程在籍者であれば誰でも参加できるようにした。延べ28名の博士後期課程学生が参加した。うち従来のすべてのプログラム（学外研修を含む）に参加する学生は2名であった。
- ・ 平成27年10月16日にイノベーション創出若手人材養成プログラムFDとして「コンソーシアム構築による博士人材育成～広島大学の取組～」(講師：広島大学副学長（大学経営企画担当）相田美砂子氏)を開催した。参加者は10名であった。
- ・ 平成28年1月にニュースレター第1号を発行した。

- ・平成28年1月15日より平成28年度プログラム研修生および聴講生の募集を開始した。募集要項・ニュースレターを全研究科の博士後期課程1・2年（連合獣医学研究科は1～3年）および進学予定の博士前期課程2年の学生に配布した。また説明会を5回開催した。その結果プログラム研修生4名、聴講生6名が参加予定である。
- ・平成28年3月15日に岐阜大学イノベーション創出若手人材連携育成会総会、第6回企業向け発表会、第6回成果報告会を実施した。参加者は14名であった。

3. 課題及び次年度の取組方針

課題：

- ・COC+とのかかわり方
- ・イノベーションプログラムへの参加学生の確保と定着化
- ・空席の准教授との仕事の連携

次年度取り組み方針

1. キャリア形成支援事業

(1) 学生の基盤的能力向上を図るための自主的活動支援

課題募集・選考 27年度は@5万円×2件（3件まで可）

活動報告会実施，部門ニュースへの掲載

(2) 学生ボランティア活動支援

(3) 先輩社会人との交流会開催

27年度は10/31（土）大学祭時に開催 5学部・5名の先輩社会人が参加

※ 参加者（全員で17名）を増やすため，今年度は水曜日の午後を検討している。

(4) キャリア形成支援のための在学生アンケート実施

※ 経費がかかる割に回答率が低いため（70万円・回答率17%）今年度は卒業生対象から在学生対象へ変更する。

27年度は卒業後5年・10年・15年の卒業生（3,272名）を対象として郵送で実施

2. キャリア形成に関する研究・広報活動

(1) FDの開催（年1回）

27年度は「これまでとこれからのキャリア形成」

(2) 研究会への出席

「岐阜県インターンシップ推進協議会成果報告会」，

「インターンシップ専門人材養成研修会」

「学生支援機構各種研修会」

その他

(3) キャリア形成に関する図書・資料の整備

- (4) キャリア支援部門ニュースの発行（年2回）
部門の活動紹介，卒業生からの寄稿等
- 3. イノベーション創出若手人材養成プログラムの実施
 - (1) プログラム研修生・聴講生の募集（説明会開催），選考，プログラムの実施，企業向け発表会，成果報告会，修了証授与
- 4. イノベの研究・広報活動
 - (1) FDの開催（年1回）
27年度は「コンソーシアム構築による博士人材育成」
 - (2) NEWS LETTER の発行（年1回）
平成28年度キャリア支援部門の事業計画（就職関係を除く）